

GrADS Syntax Highlight

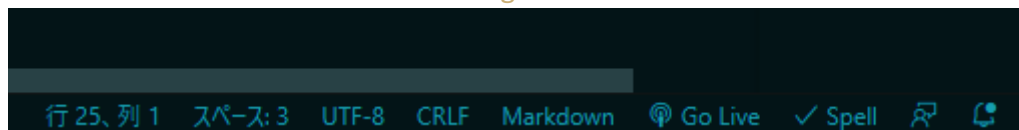
本拡張機能は`.gs`ファイルに対してsyntax highlight(コード中のキーワードに従って色を付ける機能)を提供するものである。ただしあくまでsyntax highlightのみである、したがってコードの正しさを保証するものではない(つまり、例えばある行がコメントアウトされていてもその行が実行されてしまう可能性もある)のでGrADSで実行する前に必ず各自で確認していただきたい。また、そのようなバグに遭遇した場合や私の知らない重要単語でハイライトさせるべき!という意見があればぜひ樋田に伝えてください、できる限り早く対応します。

インストールと使い方

使用するには以下の手順に従う。

※GrADSを使うのは主に研究室の計算機で、またVS Codeで`.gs`ファイルを書く人はRemote-SSHも使っている人だと思うので以下の手順ではそれを想定している。Remote-SSHについてわからない人は他の詳しい人に聞いてほしい。

1. 以下のコマンドでstormの/work1/toida/以下にあるgrads-syntax-highlightをあなたのホームディレクトリ以下のvscode-server/extensionsディレクトリにコピーする。
 - `cp -r /work1/toida/grads-syntax-highlight /home/[YOUR USER NAME]/.vscode-server/extensions/`
2. `Ctrl+Shift+X`で拡張機能一覧を開き、grads-syntax-highlightがインストールされていることを確認する。
3. 最初は適当な`.gs`ファイルを開き、右下のCRLF(あるいはLF)と書かれた場所の1つ右の言語モードの選択(下の画像でMarkdownと書かれている場所)をクリックし、`'.gs'`に対するファイルの関連付けの構成...をクリックし、GrADSを選択する。GrADSが表示されない場合はVSCodeを再起動すると表示されるはずである。そうすると、今開いている`.gs`ファイルのコードがハイライトされる。



4. 以降は`.gs`ファイルを開けば自動でハイライトしてくれるはずであるが、されない場合は上記手順3を再度行ってほしい。

Release Notes

1.0.0 (2021/12/06)

Initial release of GrADS Syntax Highlight